

1. 現状とまちづくりの方向性

現状把握・魅力・課題

まちづくりの方向性・施策案・効果

1 基本統計分析による現状把握

人口動向	○平成21年の67,051人をピークに減少。 ○歴史文化ゾーンにおいても減少。
観光動向	○入込客数は144万人(H26)。津島神社が約90万人。 ○津島神社の初詣が40万人、藤まつりが25万人、天王祭が24万人。祭り時の一時的集客のみで通年は乏しい。
現地調査	○本町筋の伝統的建築物について、1988年調査時点から現在にかけて、約3割現存せず。解体進む。 ○天王通りの空き家率20.8%、本町筋の空き家率13.6%。
産業構造	○事業所数、従業員数、商業の年間販売額が減少傾向。

2 第4次総合計画の策定時(H23)に整理されたまちづくり面での主な課題

「地域資源を活用した都市の魅力づくり」の面から	○歴史文化の保存・継承が困難 ・尾張津島天王祭、秋まつり、本町筋の町並み、茶室等。
「都市の成長力の維持・強化」の面から	○地域経済の活性化 ・主力産業(繊維産業)の衰退。 ・歴史文化資源を活かした観光戦略。
「地域の総合力の向上」の面から	○行政主体のまちづくりでは限界 ・担い手となる人材発掘・育成。 ・市民活動団体の育成。

3 関係者ヒアリングによる現状把握

ヒアリング団体	津島神社等9団体
津島市の魅力資源	津島神社、天王祭、藤まつり、秋まつり、歴史文化など多数。これらの活用が課題。
景観対策	既存団体での活動では対応できていない。
空き家等対策	オーナーは、借主への対応が不安。賃貸を躊躇。
活性化	祭りの集客はあるが、通年で誘客できていない。
拠点施設	天王祭の奥深さを発信できる、実物大の車楽舟を展示すべき。観光交流センターでは限界あり。
市民まちづくり	既存団体のまちづくり活動でも課題あり。

4 アンケート調査による現状把握

調査対象	津島市に訪歴のある人 (愛知・岐阜・三重県居住者：津島市居住者を除く)
調査手法	ネットアンケート調査
実施期間	2015年1月15～16日
票数	309サンプル
外部評価結果	○回答者の69%が観光地とは思っていない。 ○情報発信の評価＝62%が情報発信できていないと回答。 ○食・土産物の評価＝62%が充実していないと回答。 ○町並み景観評価＝約半数(47%)が魅力ありと回答。 ○認知度＝津島神社95%、天王祭85%、天王川公園73%、藤まつり70%、秋まつり44%、本町筋の古い町並み38%、堀田家住宅34%、寺社仏閣等歴史的資源33%

5 タウンミーティングによる現状把握

第1回	○2014年12月19(金)19:00～20:30 ○約70人の参加 ○「あなたが感じている歴史・文化ゾーンの魅力」「歴史・文化ゾーンでやりたいこと・やれそうなこと」
第2回	○2015年2月11日(水祝)14:00～16:15 ○約60人の参加 ○「津島の町家・町並み」
第3回	○2015年2月21日(土)14:00～16:30 ○約50人の参加 ○「まちづくりの取組みを考える」

第3回タウンミーティングで考えられたテーマ毎の「一押しアイデア」及び「具体的な取組み方法」

テーマ	一押しアイデア	具体的な取組み方法
魅せる	・天王川公園を魅せる。	・歴史をしっかり紹介。 ・郷土芸能を全部集めてイベント開催。 ・中之島に水を流す。 ・天王川公園を年中・1日中使い倒す。
巡る	・小路を巡る。	—
住む・営む	・今ある住居・店舗をリフォームする。伝統的な景観にも配慮する。	—
食・土産・泊まる	・昔ながらの食の再生(食の探究・再発見)。	・昔ながらの津島グルメの試し売り。
発信・おもてなし	・観光地として認められるようにする。	・歴史・文化をコンセプトに、津島神社・天王川公園(2つの核)をしっかり発信!

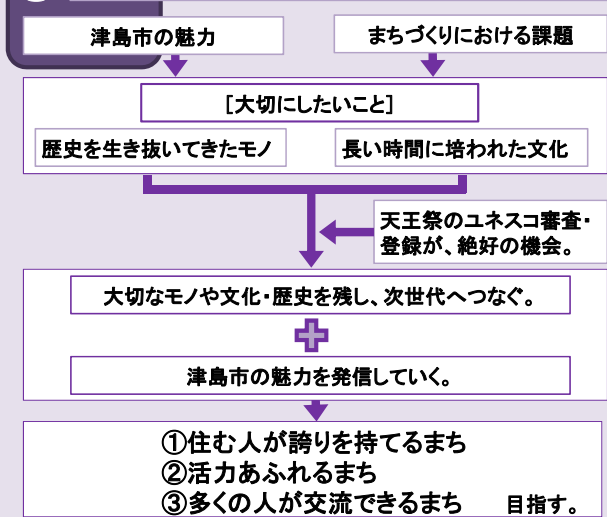
6 現状把握により確認された魅力

- 美しい風景
・天王川公園、自然、本町筋、路地等。
- 歴史
・史跡、古い町、昔ながらの地名等。
- 祭り・行事
・天王祭、藤まつり、秋まつり等。
- 社寺
・津島神社等。
- 暮らし・文化
・本町筋、町家、庭、抹茶文化等。

7 現状把握により確認された課題

- 歴史文化面では
・津島神社、天王祭、秋まつりなど資源は多数あるが、これらの活用が出来ていない等。
- 景観・町並みの面では
・本町筋の町並み・茶室などの保存・継承が出来ていない等。
- 地域活性化の面では
・空き家、空き店舗の発生等。
- 観光面では
・祭りの集客のみで、通年の集客ができていない。にぎわいまちづくりのシンボリックなものがない等。
- 市民協働・担い手づくりの面では
・担い手となる人材発掘・育成が課題等。

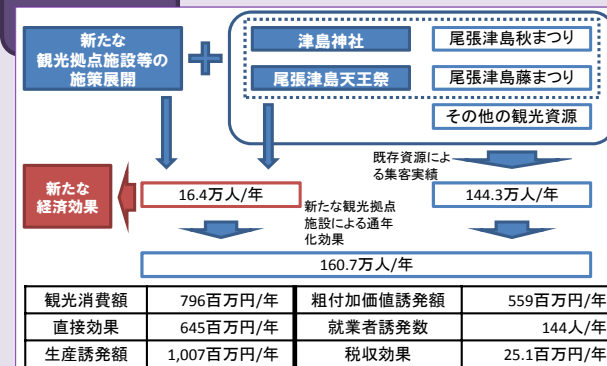
8 まちづくりの方向性



9 4つの施策案

1. 町並み保存を行う。
・歴史文化ゾーンの町並みの修景支援制度の構築。
2. 空き家・空き店舗対策による活性化。
・活性化のための空き家・空き店舗の活用。
3. 保存・継承・発信の仕掛けを構築する。
・新しい観光拠点施設の整備。
4. 市民団体支援でのまちづくりの推進を行う。
・人づくり・場づくり・資金づくりによる支援。

10 施策展開による経済効果



※観光拠点施設の整備により新規に生じる観光消費を対象としており、既往の入込み客の観光消費は変動しない取扱となっている。従って多様な取組みを総合的に実施することにより、既往の入込み客の消費の増加等が見込まれば、経済効果はさらに増進することが考えられる。

現状

施策の検討

事業スキームの検討

1 建物の建築年代・空き家等の建物実態調査

(1) 建物の建築年代(都市計画基礎調査)

建築年の古い建造物が「歴史・文化ゾーン」、特に本町筋に集積している。

	都市計画区域全域 20,650棟		歴史・文化ゾーン内 5,023棟		本町筋沿道 220棟	
	棟数	割合	棟数	割合	棟数	割合
明治	330	1.6%	197	3.9%	46	20.9%
大正	204	1.0%	128	2.5%	10	4.5%
昭和戦前	464	2.2%	222	4.4%	11	5.0%
戦後	13,839	67.0%	2,822	56.2%	85	38.6%
不明	5,813	28.2%	1654	32.9%	68	30.9%

(2) 空き家等の建物実態調査

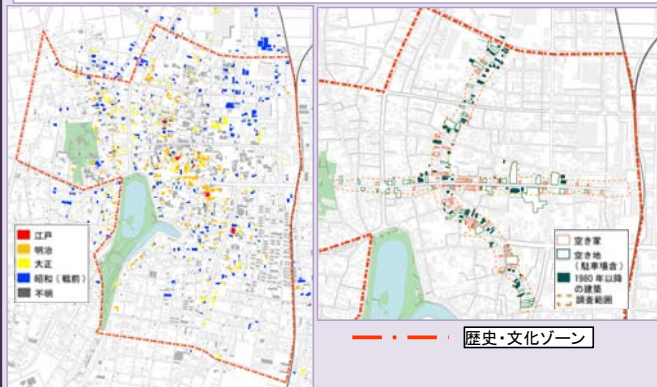
①「津島市町家建築実態調査報告書:1988年調査」の追跡調査

1988年調査において調査対象となった43棟のうち15棟が現存していない(残存率:65%)。

②本町筋、天王通りの沿道建物の状況調査

通り別に見ると、本町筋では本町2~3丁目で空き家が目立つ。また天王通りでは2~4丁目で、空き家が集中している。

	対象棟数	空き家	空き家率
本町(北町~本町5)	220	30	13.6%
天王通り(天王1交差点~津島駅)	168	35	20.8%



(1) 建築年代別の分布

(2) 空き地・空き家・1980年代以降の建築物の分布

2 景観的に重要と思われる建物等の状況

(1) 景観的に重要と思われる資源を8項目について抽出・リスト化

①文化財(建造物)、②文化財(天然記念物)、③津島市祖先の遺産を守り育てる条例での指定、④社寺、⑤町家等、⑥山車蔵、⑦本町筋、⑧小路

(2) 津島の町家の特徴を7項目について整理

①全体、②壁面の位置、③平面、④屋根、⑤ファサード、⑥色、⑦袖うだつ



文化財(建造物)
[津島神社楼門]



ファサード
[庇・格子窓・出格子]

3 歴史・文化ゾーンの景観形成の検討

(1) なぜ、今、景観形成に取り組むのか

- ・津島市の地域性を統合し、かつ視覚的に表しているものが、中世から続く町割り・歴史的な建築物である。
- ・近年、建物の建替・更地化が散見されるようになり、「津島らしい景観の特徴」が失われつつある。
- ・景観の荒廃は決定的な状況には至っておらず、修復可能な時期である。
- ・今まさに景観形成に積極的に取り組むべき時期である。

(2) 基本方針

- ①歴史的建造物の積極的な保存と活用
- ②歴史的建造物の周辺環境の整備(修景、道路等の美装化など)の推進
- ③伝統文化、伝統行事と一体となったまちづくりの実現

(3) 具体的な施策

- ①建物系
 - ・歴史的建造物の修理、一般建築物・建築付帯物(塀、エアコン室外機など)の修景・助成事業等。
- ②まち・環境系
 - ・舗装の美装化、インフラ系施設の景観への配慮等。
- ③人材育成、学び系
 - ・タウンミーティング・伝統的な木造建築に関する研修等。

4 エリア別の景観形成の検討

(1) 本町筋

○目指す景観像

・町並みを継承し、歴史性を感じさせる空間。



(2) 天王通り

○目指す景観像

・駅前通りと神社への参道という2つの性格を併せ持つ、良質な景観。



(事例写真:東京都代官山)

(3) 名古屋津島線(未開通)

○目指す景観像

・歴史的な町並みと現代性が融合する景観。



(4) 小路

○目指す景観像

・誘い込むような風景・道草したくなる景観。



5 津島市町並み景観形成事業費補助金交付制度の創設

(1) 事業内容

伝統的な町並み景観の維持、又は形成に資するため、町家等の建築物の改修、改築又は新築する事業に対し、補助金を交付する。

(2) 対象区域



城之越町、高屋敷町、米町、米之座町、上河原町、本町、天王通り1丁目、天王通り2丁目、天王通り3丁目、天王通り4丁目、金町、池麩町、馬場町、祢宜町、浦方町、横町、橋詰町、筏場町、西御堂町、舟戸町、皆戸町、薬師町、片町

(3) 補助金額・補助率

最終調整中

6 小路整備事業

(1) 整備内容

今年度(H27年度)から舗装美装化・側溝美装化を実施する。

(2) 対象路線



馬場祢宜1号線始め18路線 L≒2.3km(今後、路線は変更になる場合がある。)

現状

1-(1) 空き家・空き店舗

【統計データ】
 ・H25年住宅・土地統計調査では、津島市の空き家率は11.3%（全国平均13.5%、愛知県平均12.3%）。

【現地調査】
 ・天王通り、本町筋の空き家率は、それぞれ20.8%、13.6%。
 市平均より高く、特に天王通りの空き家率は非常に高い。

【ヒアリング等】
 ・不動産事業者によれば、天王通りは比較的賃貸物件が動く傾向。本町筋は老朽化が進んでいる空き物件が多く、改修費を投じてまで活用を図る意識をもつ所有者はなく、ほとんど動かない状況。
 ・タウンミーティングでは、お金だけでなく知恵の提供も要望。
 ・津島商工会議所で創業塾を開催。創業を希望する修了者がいるものの、ニーズに合わなかったり、賃貸市場にのってない等を理由に断念する事例も。
 ・雑貨・カフェの開業希望者は自己資金が十分でないものが多く、小規模で初期投資の少ない中古物件を選択する傾向がみられ、津島の空き家・空き店舗に対する需要も期待される。

・今後、本町筋を中心に空き家の増加が想定され、流通促進を図ることが求められる。
 ・創業者からみれば、同エリアの空き家は魅力的な物件であり、利活用を図ることで、新たな商業集積の誘導へと繋がる可能性。
 ・地域活性化の観点から、天王通り、本町筋の空き家の流動化に向けた取組が必要。お金だけでなく、知恵も出すスキームが重要。

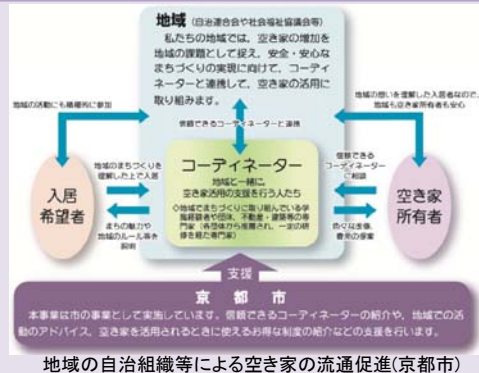
事例

2-(1) 空き家・空き店舗活用事例

・地域交流拠点、体験型滞在施設、シェアハウス、高齢者共同居住住宅等、様々な空き家・空き店舗の活用事例がみられる。

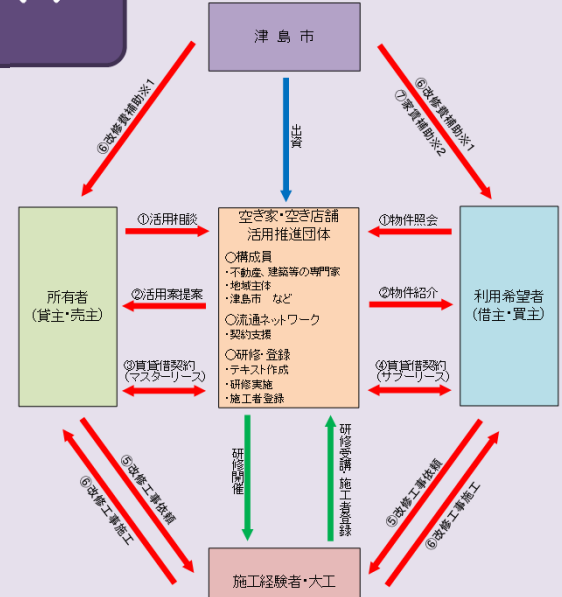


空き家 → 高齢者共同居住住宅（東京三鷹市）
 ・行政による空き家バンクの運営、地域の自治組織等による空き家の流通促進など創意工夫による様々な組みが展開されている。



施策・事業スキームの検討

3-(1) 津島型空き家・空き店舗活用手法



※1: 「施工者登録した者」が施工した場合のみ補助対象となる。
 ※2: 店舗を開業する場合のみ補助対象。居住のみの場合は補助対象外。

1-(2) 地域ブランド化

【ユネスコ無形文化遺産登録】
 ・平成26年3月に天王祭がユネスコ無形文化遺産の登録に向けて提案され、平成28年秋頃、審査・登録予定。

【タウンミーティング】
 ・様々な地域資源を活用しきれていない。
 ・祭り文化を活用しきれていない。
 ・まちなかに飲食店が少ない。
 ・宿泊場所が乏しい。
 ・津島の魅力を対外的に発信できていない。
 ・天王川公園を魅せる。昔ながらの食の再生。歴史・文化をコンセプトに津島神社・天王川公園をしっかりと発信。

【外部評価(来訪者に対するネットアンケート)】
 ・観光資源の有無: 「十分ある」「まあまあある」の小計36.6%、「あまりない」「全くない」の小計49.2%。対外的に観光資源があると認識されていない。
 ・観光目的で津島市を訪れると考えた場合の魅力的な行動: 「祭りを見る」63.1%、「観光スポットを巡る」44.3%、「古い町並みを散策する」34.0%、「美味しいものを食べる」(32.4%)。
 ・観光地としての全体評価: 「魅力あり」「まあまあ魅力あり」の小計41.8%、「あまり魅力なし」「魅力なし」の小計47.9%。魅力があると認識されていない。

2-(2)

【食】
 ・須坂市の「豪商の館 田中本家博物館」では、接待古文書「諸客賄方控帳」の記録を基に、江戸時代の料理を再現して提供している。



【土産】
 ・大津祭曳山連盟では、成安造形大学と連携し、大津祭りのキャラクター「ちま吉」を考案し、ちま吉センターにてグッズ販売を行っている。



【シティプロモーション】
 ・「地域イメージ向上」、「交流人口増加」、「定住人口増加」を目的に各地で取組みが進む。
 【ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組み】
 ・パネル展やシンポジウム等事前周知と意識醸成に重点をおいた取組みが各地で進む。

3-(2) 地域ブランド化の取組み

【食】
 ・風土、歴史文化に着目した食の再生を行う。
 【土産】
 ・近隣大学と連携し、マーケティングの授業／研究の一環として開発を行う。
 ・大学との連携を図ることで、学生によるSNSを通じた情報拡散が期待できる。

【シティプロモーション】
 下記の視点に留意して効果的な取組みを進める。
 ・目標の絞り込み
 ・目標、キャッチコピー、計画内容、指標の一貫性
 ・現施策の見直し等、着手できることから着実に展開
 ・機動的・専門性のあるセールスマンを配置し、継続的に取組む体制を構築する。
 ・市関係者全員をセールスマンとして巻き込む

【ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組み】
 ・シンポジウムの開催や市内外でのパネル展開催、ポスターやのぼり旗の掲示などにより認知度向上を図る。
 ・市内及び周辺の小中学校に協力を依頼し、津島天王祭をテーマとした絵日記に取り組んでもらう。子ども世代だけでなく、親世代における認知度向上が期待できる。

1 天王祭の開催期間以外の現状

現在、天王祭の開催期間以外の期間は、巻藁舟・車楽舟は解体され、津島神社等に巻藁舟・車楽舟の1/3スケールの模型はあるが、原寸大の巻藁舟・車楽舟を常時展示する施設はなく、観光客等は「天王祭の車楽舟行事」を、通年で体感することができない。また、観光交流センター等の既存施設で、貴重で荘厳・華麗な行事の歴史的・文化的価値を、観光客等に十分に伝えているとはいえない。

このほか、市内には、祭道具や貴重な古文書・宝物等があるが、これら歴史・文化資産を適切に保存管理し、観光客等が観覧するほか、津島市民自身が津島の歴史・文化を学習・教育・研究し、まちづくりを活用する施設も存在しない。



天王祭の開催期間以外の巻藁舟・車楽舟



観光交流センター



津島神社の1/3スケールの模型



観光交流センター

3 新たな観光拠点施設整備の必要性

通年型観光を推進していくことが重要であり、特に、「尾張津島天王祭の車楽舟行事」を核として、津島市の歴史・文化資産を魅せる施設が求められる。

観光交流センター等の施設を、活用・再整備することも考えられるが、いずれの施設も、巻藁舟・車楽舟を展示し、行事を体感するには天井高が低く、十分な広さがないほか、歴史・文化資産を保存管理する機能(温湿度管理等)を有していない。

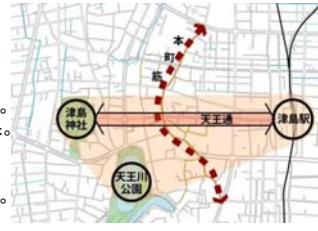
このように「尾張津島天王祭の車楽舟行事」を体感し、観光拠点としての機能を担う施設がなく、歴史・文化を保存・継承・発信し、通年型観光を推進していくためには新たな観光拠点施設の整備が必要となる。

4 建設候補地

津島神社と津島駅、天王川公園で囲まれたエリアで選定。

候補地の選定の考え方

- ・交通：津島駅・道路等の交通アクセス。
- ・賑わい：周辺の賑わい形成や相乗効果。
- ・回遊性：歴史・文化ゾーン内の位置。
- ・規模：施設用地の確保。
- ・転用：既存施設の土地の転用可能性。



5 施設のイメージ

スペース	機能
巻藁舟・車楽舟	原寸大の巻藁舟・車楽舟を使用して、天王祭の車楽舟行事体感スペース。祭関係者が笛太鼓を披露・指導。
映像交流スペース	映像による歴史・文化の紹介・学習。
歴史文化交流スペース	祭道具・古文書等による歴史・文化の紹介・学習。
図書スペース	文献等による歴史・文化の学習・教育・研究。
収蔵スペース	祭道具・古文書等の保存管理(恒温・恒湿機能、荷解き)。
歴史文化研修スペース	セミナー等による歴史・文化の紹介・学習。笛太鼓の練習等、多目的に利用(100名収容)。
観光案内スペース	津島・海部地区の観光名所・歴史・特産品等の案内。
地域物産紹介販売スペース	津島市の特産品(あかだ、くつわ等)の紹介・販売。
事務スペース	施設管理者、ガイドボランティアの執務スペース。



合計面積：2,300㎡、1階：1,850㎡、2階：450㎡

2 ユネスコ無形文化遺産に提案されている地域の事例

ユネスコ無形文化遺産に提案されている33の「山・鉾・屋台行事」がある地域の内、25の地域は、年間を通じて行事や山車等(現物又は原寸の模型)を常設展示する等、観光交流拠点としての機能を備えた施設を設置している。



高山祭屋台会館



飛騨古川まつり会館



秩父まつり会館



川越まつり会館



高岡御車山会館



犬山祭どんでん館

6 事業手法の整理

従来の公設方式のほか、民間の資金や経営ノウハウ等の民間活力を活用するPFI、リース方式などの適性を評価した。

	公設方式	PFI	リース方式	
役割分担	資金調達	津島市	民間事業者(SPC)	民間事業者
	設計・建設	津島市	民間事業者(SPC)	民間事業者
	管理・運営	津島市・指定管理者	民間事業者(SPC)	民間事業者
特性	初期投資	△多額の初期投資が必要となる。	○民間資金活用により平準化が可能。	○民間資金活用により平準化が可能。△国の補助が受けられない。
	コスト削減	△コスト削減余地が少ない。	○民間ノウハウによるコスト削減が可能。	○民間ノウハウによるコスト削減が可能。
	リスク分担	△市が全面的にリスクを負う。	○市と民間の適正なリスク分担が可能。	○市と民間の適正なリスク分担が可能。
	事業運営の安定性	(受託者の財務状況等に左右される。)	○SPCによって安定的な事業運営が可能。	△会社が倒産した場合に事業が中断する。

SPC:この事業を実施するための特別目的会社であり、既存の建設会社等との倒産隔離が可能。

7 事業費の検討

維持管理・運営期間を15年とした場合の事業性を評価した結果、PFI・BTO方式が、市の負担額が最も小さいとの結果が得られた。

単位:千円

科目	従来方式	PFI・BTO方式	リース方式
A 市の費用	2,990,436	2,890,859	3,216,274
施設整備費	1,929,618	1,806,450	1,924,644
維持管理・運営費	1,050,434	1,052,425	1,259,647
人件費(ボランティア)	10,383	10,383	10,383
アドバイザー費用	—	21,600	21,600
B 市の収入	607,911	549,078	718,570
交付金	588,331	529,498	529,498
固定資産税等	—	—	169,492
使用料	19,580	19,580	19,580
C 市の支出(A-B)	2,382,525	2,341,781	2,497,703
削減額	—	40,744	-115,179
削減率	—	1.71%	-4.83%
D 現在価値	2,029,870	1,932,962	2,060,988
削減額(VFM)	—	96,908	-31,118
削減率(VFM)	—	4.77%	-1.53%

※PFI・リース方式の場合は、設計・建設・維持管理・運営業務が一括で性能発注し、民間ノウハウの活用によって、施設整備費・維持管理運営費が削減可能となる。

※VFMとは、Value For Money(バリュー・フォー・マネー)の略で、支払い(Money)に対して最も価値の高いサービス(Value)を供給するという考え方。PFIでは、複数年にわたる事業の経済的価値を図るために、将来価値を一定の割引率で現在価値に置きかえ比較する。

8 事業化に当たって

事業手法としては、PFI手法の適性が高いと判断されるため、事業化に当たっては、PFI手法の導入を検討していく。

現状

事例(犬山の取組)

施策・事業スキームの検討

1 津島市における歴史・文化まちづくり団体の実態

主な団体	<ul style="list-style-type: none"> ・津島山車保存会。 ・トノ割会。 ・NPO法人まちづくり津島 など。
団体が抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> ○歴史・文化資源の保存について <ul style="list-style-type: none"> ・渡邊家の再生は個人対応。氷室家も放置。 ・行政投資や活用ができていない。 ○活動拠点について <ul style="list-style-type: none"> ・ガイドボランティアの常駐場所を確保していない。 ○まちづくりの人材について <ul style="list-style-type: none"> ・役所の出すペーパーだけでは動かない ・団体の会員は増えていない。高齢化も進んでいる。 ○まちづくりの情報について <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりに関する情報が入りにくい。 ○歴史・文化ゾーンの活性化のあり方 <ul style="list-style-type: none"> ・点から線、線から面への展開が必要。 ・着地型観光づくりが重要。 ○今後の取り組みに向けて <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の所有者・地権者がその気にならなければ、まちづくりは進められない。

2 津島市におけるまちづくり活動支援の取組実態

方針	<ul style="list-style-type: none"> ○「協働のまちづくり基本方針」を策定(H25.3) <ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有と団体同士の交流。 ・人材(人財)の発見と育成。 ・活動・交流する場の確保。 ・資金力の向上。 ・行政の変革。
事業①	<ul style="list-style-type: none"> ○「つしま夢まちづくり提案事業」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・公益性のある事業募集し、補助金を交付。
事業②	<ul style="list-style-type: none"> ○「ちよこらぼ・市民活動団体交流会」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体同士の情報交換を行う会の開催。
事業③	<ul style="list-style-type: none"> ○「市民活動情報」の発信 <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動情報誌の発行、チラシ展示コーナー。

3 取組みのきっかけ

市民活動支援条例の制定	
目的	市民と行政がキャッチボールをしながら、パートナーシップをもって市民活動支援条例を制定。
Step 1	一般市民等による研究会を設置。完全公開・自由参加制。市民案を策定。
Step 2	市職員による研究会で、市の具体案を作成。
Step 3	市民・行政とのキャッチボールを行い、共同研究会を設置。条例案を作成。条例化。
効果	条例制定の際に、「市民活動の場」と「中間支援組織」の必要性が指摘される。

4 活動の場の確保

市民活動の場「しみんてい」の確保	
概要	市民活動拠点は、センター機能と地域の活動拠点から形成され、「しみんてい」はそのセンター機能。公設民営施設。
補助金	街並み環境整備事業補助金を活用。空き家の土地・建物を市が買い取り、改修。
運営	条例制定等の協議を通して、「中間支援組織のNPO」が設立当該NPOが中間支援機能と拠点施設の管理運営を行う。
役割	拠点施設の運営だけでなく、市民団体の育成のための各種業務を展開(一部市からの業務委託)。市民団体のたまり場となる。



5 「人づくり」、「場づくり」、「資金づくり」を進めるまちづくり推進施策

「人づくり」を進めるまちづくり推進施策

背景必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○複数のまちづくり団体が設立されているが、どの団体もボランティアによる集団であるため、十分な人材が揃っているとは言い難い。 ○「人材育成」に関する支援としては、「市民活動団体交流会」などを通して、団体の活動報告、情報交換などが行われているが、団体の活動分野を問わず広く交流を進めている段階で、特定分野の団体の育成、人的交流などの取組には至っていない。 ⇒まちづくり団体の育成、人材育成に向けた人づくりの取組が必要。
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ○関係者の協力を得ながら「まちづくり団体を育成する中間支援組織」の組成を目指す。
事業方法	<ul style="list-style-type: none"> ○津島市が主導し、市民とのタウンミーティングやワークショップを通して、中間支援組織の必要性について市民と共有。 ○市民活動の支援事業の実施を想定した「津島市市民活動の支援に関する条例」制定を目指す。 ○条例制定後、タウンミーティング等に参画した住民を中心に、「中間支援組織」を組成する。 ○中間支援組織が組成された段階で、「市民活動支援条例」に基づき、中間支援組織に対して、「まちづくり人材育成研修事業」等を委託。

「場づくり」を進めるまちづくり推進施策

背景必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○多くの市民団体では、常駐できる活動場所を有していない。 ○津島市のまちづくりにおける「場」の提供支援は行われていないものの、歴史・文化ゾーン内には、空き家・空き店舗が存在。 ⇒「空き家」等を活用したまちづくり団体の活動の場の確保が必要。
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ○「津島市市民活動の支援に関する条例」と「空き家・空き店舗の活用施策」を通して、歴史文化ゾーン内に、まちづくり団体の活動拠点を計画的に配備。
事業方法	<ul style="list-style-type: none"> ○中間支援組織に対して、「まちづくり活動拠点」の管理運営を委託し、利用対象団体として想定される団体に対する賃貸事業を行わせる。 ○各種まちづくり団体は「まちづくり活動拠点」を賃貸利用し、「場」を通して、相互交流を行う。

「資金づくり」を進めるまちづくり推進施策

背景必要性	<ul style="list-style-type: none"> ○「つしま夢まちづくり提案事業」が創設され、今後、市民活動が活発になり、多くの事業が展開されている。 ⇒国・県等に活用できそうな「市民活動支援金制度」が複数存在しており、こうした制度の活用が期待される。
施策内容	<ul style="list-style-type: none"> ○「つしま夢まちづくり提案事業」の拡充を図る。 ○中間支援組織の協力を得て、「市民活動支援金制度」の活用方法を学び、研修会の開催、補助金獲得を目指す。
事業方法	<ul style="list-style-type: none"> ○「つしま夢まちづくり提案事業」の予算拡大。 ○中間支援組織に対する「市民活動支援金制度」の活用のための研修事業の委託を行う。